

平成16年度第二次環境調査の結果 及び第三次環境調査の実施について

< 習志野第10号(平成17年2月3日) >

発行・編集：環境省環境リスク評価室、財務省関東財務局審理第一課、千葉県環境政策課
習志野市環境保全センター、船橋市環境保全課

環境省及び財務省では、陸軍習志野学校跡地の環境調査を平成15年度から行っており、平成16年度の第二次環境調査を平成16年12月から17年1月にかけて実施しました。

その結果、分析した全ての表層ガスおよび土壌からは、毒ガス成分は検出されませんでした。

第三次調査として、既の実施した物理探査の結果に基づき選定した地点を掘削し、物理探査の反応物が毒ガス弾等でないことを確認する不審物確認調査を平成17年2月中旬から3月にかけて行います。

民有地につきましては、下記の調査業者から住民の方々に調査日時等に関するご連絡をさせていただきますので御協力の程宜しくお願いいたします。

不審物確認調査：間組

1. 平成16年度第二次環境調査の結果について

(1) 表層ガス調査

平成16年8月～9月および12月に実施した物理探査の結果、何らかの反応が検知された箇所全てについて、その直上の地表面の大気中に毒ガス関連物質が含まれていないか、平成16年12月から17年1月にかけて調査を行いました(合計25検体)。(調査地点は裏面参照)

結果：全ての検体について、毒ガス関連物質(硫黄マスタード、ルイサイト、ホスゲン、シアン化水素)は検出されませんでした。

(2) 土壌調査

平成16年8～9月および12月に物理探査を実施した箇所について、表層土壌を採取して毒ガス関連物質が含まれていないか、平成16年12月から17年1月にかけて調査を行いました(合計48検体)。(調査地点は裏面参照)

結果：平成16年12月に採取した検体について、含有量および溶出量どちらも毒ガス関連物質である、硫黄マスタード、ルイサイト、2-クロロビニル亜アルソン酸、あか剤関連物質(ジフェニルクロロアルシン、ジフェニルシアノアルシン、ビス(ジフェニルアルシン)オキシド、ジフェニルアルシン酸、フェニルアルソン酸)は検出されませんでした。なお、平成17年1月に採取した検体については、現在、分析中です。

2. 平成16年度第三次環境調査の予定について

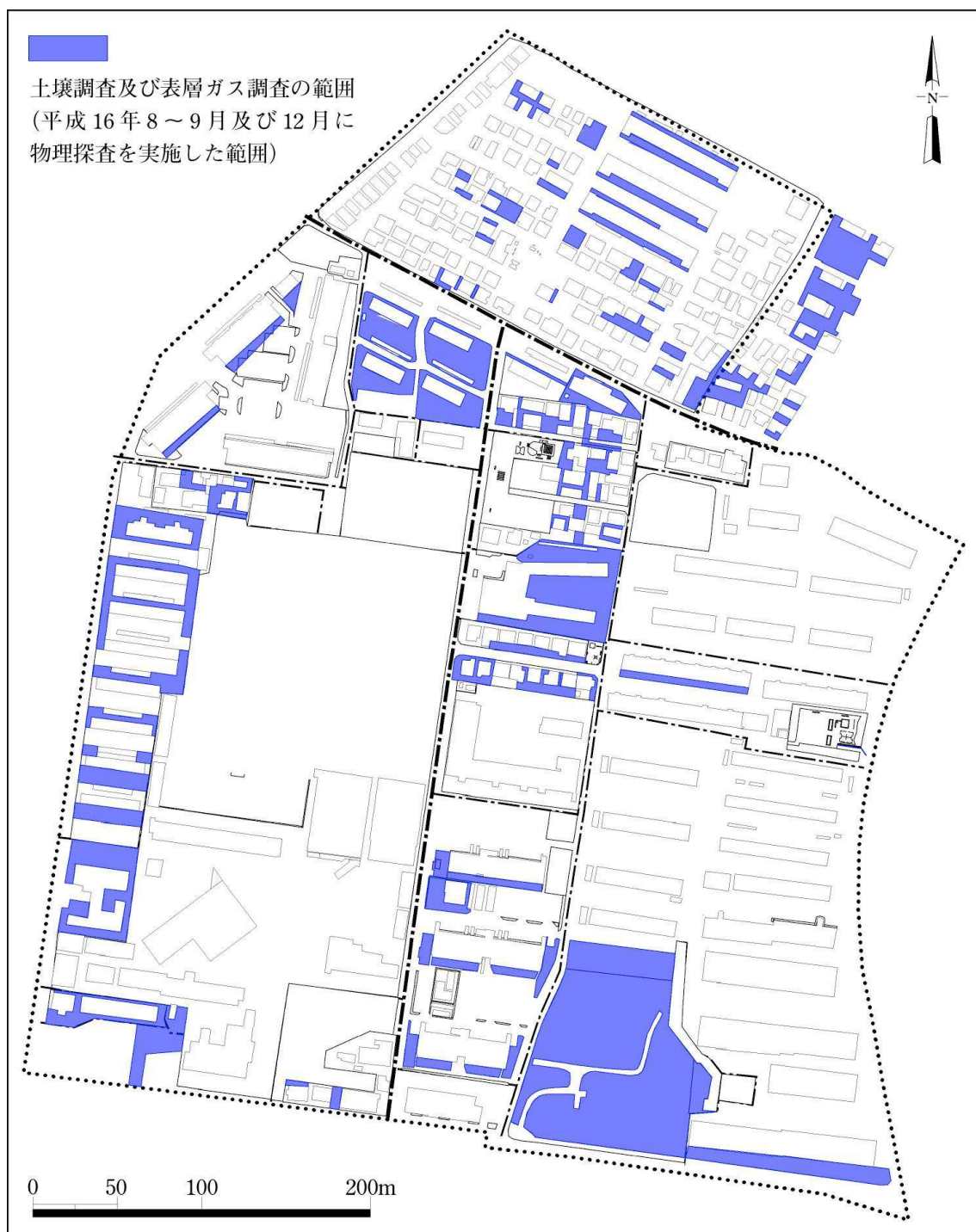
既の実施した物理探査の結果に基づき選定した247地点を1～3m程度掘削し、物理探査の反応物が毒ガス弾等でないことを確認する不審物確認調査を平成17年2月の中旬から3月にかけて行う予定です。

ご質問・ご相談は、下記窓口にご連絡ください。

環境省環境保健部環境リスク評価室	03-3581-3351
財務省関東財務局審理第一課	048-600-1182
千葉県環境生活部環境政策課	043-223-4660
習志野市環境部環境保全センター	047-451-1400
船橋市環境部環境保全課	047-436-2455

作業中、ガードマンの配置や囲い等による安全対策に十分配慮致しますので、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

なお、調査箇所の土地所有者の方には、別途ご連絡し、日程調整などの後に調査を実施いたします。



注) 物理探査、土壌調査等の調査は裸地を対象に行っています。舗装されていたり建物が建っているところについては、その状態が保たれている限り直接被害が生じることは考えられないため、今回は調査していません。